

講演プログラム

重力・宇宙論

重力・宇宙論

8月24日 8:45-9:45 A会場	8月25日 14:30-15:30 A会場
8:45 重宇1 渡邊勇輝 わたなべゆうき (M1) 波動光学で見るブラックホール	14:30 重宇13 荻尾真吾 おぎおしんご (M1) 銀河中心領域での MeV ガンマ線探査から探る暗黒物質
9:00 重宇2 天羽将也 あもうまさや (M1) 4次元 Einstein-Gauss-Bonnet 理論における静的球対称ブラックホールの周りの性質	14:45 重宇14 阿部正太郎 あべしょうたろう (M1) ダークマター探索の現状と将来
9:15 重宇3 郭優佳 かくゆうか (M1) AdS background の4次元 Gauss Bonnet 時空における球対称ブラックホールの熱力学, 相転移, Joule Thomson 効果について	15:00 重宇15 谷口貴紀 たにぐちたかのり (M1) 擬似スペクトル法を用いた cosmic shear パワースペクトルの測定手法
9:30 重宇4 野村皇太 のむらきみひろ (M2) 一般的な非線形電磁気の枠組みにおけるブラックホールの安定性	15:15 重宇16 村上広椰 むらかみこうや (M2) 機械学習を用いた暗黒物質質量への制限
8月24日 11:15-12:15 B会場	8月25日 15:45-16:45 A会場
11:45 招待講演 小林 努氏 (立教大学) 一般相対論の拡張と検証	15:45 重宇17 森下薫能 もりしたゆきよし (M1) 複数場に拡張したインフレーションモデルの検証
8月24日 15:45-16:45 B会場	16:00 重宇18 三倉祐輔 みくらゆうすけ (M1) Inflation in the Palatini formalism
15:45 重宇5 秋葉健志 あきばたけし (M1) 宇宙初期のクエーサーによる 21cm 線シグナルへ影響	16:15 重宇19 柄本耀介 えのもとようすけ (M1) インフレーションにおける原始揺らぎの非ガウス性について
16:00 重宇6 坂本陽菜 さかもとひな (M1) 初代星が再電離に与える影響と 将来観測機器での観測可能性	16:30 重宇20 岡野創 おかのそう (D1) 背景重力波の非ガウス性の直接観測可能性
16:15 重宇7 角谷健斗 すみやけんと (M1) 銀河団での散乱によって生じる CMB の偏光を用いた密度ゆらぎの再構築	8月25日 17:00-18:00 A会場
16:30 重宇8 山下晃毅 やましたこうき (M1) 大スケールの非一様等方性を持つ宇宙での構造形成	17:00 重宇21 三木大輔 みきだいすけ (M1) 重力相互作用による量子もつれの生成
8月24日 17:00-18:00 B会場	17:15 重宇22 吉田萌生 よしだもえき (M1) 量子ビット回路での Hawking 輻射のモデル化によるファイアウォールの再現
17:00 招待講演 小松 英一郎氏 (マックス・プランク宇宙物理学研究所) 原始重力波	17:30 重宇23 佐藤琢磨 さとうたくま (M1) ブラックホール近傍の漸近的対称性
8月25日 8:45-9:45 A会場	17:45 重宇24 古郡秀雄 ふるごおりひでお (D1) 場の理論のドレス状態から探る BMS 漸近対称性
8:45 重宇9 日下公享 ぐさかともゆき (M1) 重力波信号の検出に用いる Matched Filter について	8月26日 10:00-11:00 A会場
9:00 重宇10 豊島弥洋 とよしまみひろ (M1) バースト重力波のデータ解析	10:00 重宇25 佐藤崇永 さとうたかのり (M1) アキシオンと天体進化
9:15 重宇11 窪田圭一郎 くぼたけいいちろう (M1) Effective-one-body 形式	10:15 重宇26 物部武瑠 モノベタケル (M2) 初期宇宙における Primordial BlackHole の放射
9:30 重宇12 中村拓人 なかむらたくと (M1) ブラックホール周囲の光子球と重力波の準固有振動	10:30 重宇27 沼尻光太 ぬまじりこうた (M1) $f(R) = R + \alpha R^2$ gravity における中性子星の質量-半径関係: purely metric formulation と torsion formulation の比較

8月26日 11:15-12:15 A会場	
11:15	重宇 29 大河内雄志 おおこうちゆうじ (M1) すばる HSC のデータを用いた銀河のクラスタリングと弱重力レンズ効果の二点相関による重力理論の検証法
11:30	重宇 30 迫田康暉 さこだこうき (M2) Quadratic Estimator を用いた重力レンズ測定と想定されるバイアス
11:45	重宇 31 河合宏紀 かわいひろき (M1) 深層学習を用いた重力レンズマップのノイズ除去
8月26日 13:15-14:15 A会場	
13:15	重宇 33 村田知暁 むらたともあき (M1) 非等方時空における Spectator axion-SU(2) モデルの等方化についての解析
13:30	重宇 34 三嶋洋介 みしまようすけ (D1) 原始重力波のスペクトル指数が正となるスローロール・インフレーションモデルにおける再加熱機構
13:45	重宇 35 斎藤大生 さいとうだいせい (M1) Barrow entropy と時空の熱力学を用いた修正宇宙論
14:00	重宇 36 間仁田侑典 まにたゆうすけ (M2) “空間方向”の一般座標変換に対する不変性を破るダークエネルギーの低エネルギー有効場理論
8月27日 10:00-11:00 A会場	
10:00	重宇 37 高島智昭 たかしまともあき (M1) 5 次元宇宙と膜宇宙 ブレーンワールドの重力
10:15	重宇 38 古賀一成 こがいつせい (D1) 真空崩壊におけるバブル時空の生成と触媒効果による宇宙定数の決定
10:30	重宇 39 田中海 たなかかい (M1) 宇宙の真空泡のダイナミクスと不安定性
10:45	重宇 40 時聡志 ときさとし (M2) マイクロレンズ効果による宇宙ひもパラメータの制限
8月27日 11:15-12:15 A会場	
11:15	重宇 41 浅見拓紀 あさみひろき (D1) 漸近 AdS 時空における Einstein-Vlasov 系の熱的安定性
11:30	重宇 42 櫻井優介 さくらいゆうすけ (M1) (1+1) 次元 Infinite Derivative Gravity における厳密解と時空特異点の回避について
11:45	重宇 43 太田溪介 おおたけいすけ (M2) Janis-Newman Algorithm とその拡張について
12:00	重宇 44 原健太郎 はらけんたろう (PD) アインシュタイン計量からインスタントを作る

8月24日 13:15-14:15 A会場	
13:15	コン 1 吉武知紘 よしたけともひろ (M2) X 線突発天体 MAXI J1820+070 の多波長 SED 解析
13:30	コン 2 柴田真晃 しばたまさあき (M1) 食の形状変化による IW And 型矮新星のモデルの検証
13:45	コン 3 YooSeokhyun ユソクヒョン (M1) MAGIC ガンマ線望遠鏡によるブレーザー S5 0716+714 のフレア観測
14:00	コン 4 反保雄介 たんぼゆうすけ (M2) First Detection of Superoutbursts during Rebrightening Phase of a WZ Sge-type Dwarf Nova
8月25日 11:15-12:15 A会場	
11:15	コン 5 古野雅之 ふるのまさゆき (M2) 孤立ブラックホールにおける低光度降着流の広帯域スペクトル計算
11:30	コン 6 喜友名正樹 きゆなまさき (M1) 放射冷却と磁場の乱流化による定常円柱状ジェットの加速機構
11:45	コン 7 宇野孔起 うのこうき (M1) 爆発的質量放出により駆動される突発天体モデル：特異な突発天体 AT2018cow への適用
12:00	コン 8 道簾皓平 みちはたこうへい (M2) 重力崩壊型超新星爆発における磁気流体ジェットの線形解析
8月25日 13:15-14:15 B会場	
13:15	招待講演 大須賀 健氏 (筑波大学) 次世代のブラックホール天文学 (入門)
8月25日 14:30-15:30 C会場	
14:30	コン 9 赤穂龍一郎 あかほりゆういちろう (M2) 大質量星の重力崩壊における多次元一般相対論的 Boltzmann ニュートリノ輸送
14:45	コン 10 佐々木俊輔 ささきしゅんすけ (M1) 3 次元対流効果を加えた超新星爆発の球対称 1 次元シミュレーション
15:00	コン 11 齋藤晟 さいとうせい (M2) 光度曲線の系統的解析で探る超新星の多様性
15:15	コン 12 松田将大 まつだまさひろ (M2) すばる HSC-SSP transient survey を用いた明るい超新星の光度分布調査
8月25日 17:00-18:00 B会場	
17:00	コン 13 高橋幹弥 たかはしみきや (M2) 一般相対論的輻射輸送コード ARTIST の空間 3 次元化
17:15	コン 14 武者野拓也 むしやのたくや (M1) Ly α Photon の輻射輸送を考慮した超巨大ブラックホール形成の研究に向けたレビュー
17:30	コン 15 尾形絵梨花 おがたえりか (M1) Super-Eddington 天体に対する dusty-gas の Hoyle-Lyttleton 降着
17:45	コン 16 北島歆大 きたじまかんた (M1) 相対論的流体力学の SPH 法を用いた数値計算法

講演プログラム

	8月26日 8:45-9:45 A会場		8月24日 8:45-9:45 C会場
8:45	コン17 橋山和明 はしやまかずあき (M1) パルサー磁気圏の粒子加速機構解明へのこれまでとこれから		8:45 銀河1 大滝恒輝 おおたきこうき (M2) ダークマター欠乏銀河はどうやってできたのか?
9:00	コン18 南木宙斗 なんもく そらと (M1) 異なるクランピートラスモデルの X 線スペクトル解析における系統誤差の評価		9:00 銀河2 数野優大 かずのゆうだい (M1) 天の川銀河における Subhalo の衝突過程
9:15	コン19 後藤瞭太 ごとうりょうた (M1) ピッチ角分布の非等方性を考慮に入れたガンマ線バーストのシンクロトロン放射モデル		9:15 銀河3 石崎滉也 いしぎきこうや (M1) 銀河団 RXJ1347-1145 の数値シミュレーション
9:30	コン20 鹿内みのり しかうちみのり (M2) 電波望遠鏡 CHIME による SGRB からの残光観測に向けた解析パイプライン開発		9:30 銀河4 國分厚志 こくぶあつし (M1) QU-fitting による複雑なファラデースペクトルの構築
	8月26日 13:15-14:15 C会場		8月24日 10:00-11:00 C会場
13:15	コン21 野際洗希 のぎわひろき (M1) ショートガンマ線バーストを用いた中性子星合体からの物質放出量の調査		10:00 銀河5 二木惇太郎 ふたつきじゅんたろう (M1) ファラデートモグラフィを用いた銀河磁場探査
13:30	コン22 土生菜々恵 どもとななえ (M1) キロノバのスペクトルで探る r-process 元素合成の痕跡		10:15 銀河6 山崎雄太 やまざきゆうた (D1) 銀河の確率的モデリングと大規模サンプリングで探る元素存在量確率分布の銀河進化
13:45	コン23 桑田明日香 くわたあすか (M1) 非回転ブラックホールまわりの移流優勢降着流の一般相対論的磁気流体シミュレーションについて		10:30 銀河7 常盤辰 とぎわあきら (M1) 降着した球状星団ストリームを通したダークマターの性質の調査
14:00	コン24 久世陸 くぜりく (M1) パルサーの磁場と降着円盤の相互作用を利用した回転エネルギーの効率的な引き抜き機構		8月24日 13:15-14:15 C会場
	8月26日 14:30-15:30 C会場		13:15 銀河9 平島敬也 ひらしまけいや (M1) 星団の高速・高精度シミュレーション用アルゴリズム BRIDGE とその応用
14:30	コン25 八谷卓朗 はちやたくろう (M1) ニューラルネットワークを用いたパルサー探索		13:30 銀河10 朝野哲郎 あさのてつろう (M2) バー共鳴によって作られる Hercules stream の3重構造
14:45	コン26 今澤遼 いまざわりょう (M1) 電波銀河 IC310/NGC1275 の GeV TeV ガンマ線の時間変動の研究		13:45 銀河11 吉田雄城 よしだゆうき (M2) 渦状腕構造中の星のエピサイクル位相同期メカニズム
15:00	コン27 佐藤優理 さとうゆり (M1) GeV/TeV 帯域で検出されたガンマ線バーストの初期 X 線残光における緩慢減衰期の統計的性質		14:00 銀河12 佐藤元太 さとうげんた (M2) 軌道計算に基づく天の川銀河ハローの構造解析
	8月26日 15:45-16:45 B会場		8月24日 14:30-15:30 B会場
15:45	招待講演 大神 隆幸氏 (甲南大学) すばる望遠鏡/HSC を用いた重力波対応天体の探査		14:30 招待講演 諸隈 佳菜氏 (東京大学) 居住環境が銀河の低温星間物質・星形成の性質に与える影響
			8月24日 15:45-16:45 A会場
			15:45 銀河13 掛川魁 かけがわかい (M1) Gaia DR 2 による観測的 HRD の作成
			16:00 銀河14 磯部優樹 いそべゆうき (M2) すばる/HSC で探る近傍極金属欠乏銀河の動力学
			16:15 銀河15 北條妙 ほうじょうたえ (M1) 空間分解した近傍渦巻銀河におけるダスト減光量と星形成率, 星質量関係
			16:30 銀河16 梶川明祐実 かじかわあゆみ (M2) 空間分解した星質量-星形成率関係から見る銀河内部での星形成活動と分子ガスの割合

銀河・銀河団

銀河・銀河団

8月25日 10:00-11:00 C会場	
10:00	銀河 17 安達孝太 あだちこうた (M1) スペクトルのモデル計算による Recently Quenched Galaxy の星形成史の推定
10:15	銀河 18 美里らな みさとらな (M2) すばる望遠鏡で見つかった青い銀河団の高温ガスの性質
10:30	銀河 19 山本直明 やまもとなおき (D1) すばる超広視野観測で解明する銀河形成最盛期以降の大規模構造形成と銀河進化
10:45	銀河 20 安藤誠 あんどうまこと (D1) 宇宙の星形成最盛期 $z = 2$ における原始銀河団コアの系統的探査
8月25日 11:15-12:15 C会場	
11:15	銀河 21 米倉直紀 よねくらなおき (M2) $z = 2.39$ 53W002 原始銀河団における大質量銀河候補の探査と性質の調査
11:30	銀河 22 大工原一貴 だいくはらかずき (M1) 銀河形成最盛期における小質量銀河の星形成活動
11:45	銀河 23 青山皓平 あおやま こうへい (M2) ALMA で探る原始銀河団の環境効果
12:00	銀河 24 伊藤慧 いてうけい (D2) HSC 広視野撮像観測による $z \sim 4$ における原始銀河団銀河の光度関数
8月25日 15:40-16:40 B会場	
15:45	招待講演 澁谷 隆俊氏 (北見工業大学) 銀河形態 - 現状の理解と未解決問題 -
8月26日 8:45-9:45 C会場	
8:45	銀河 25 牛尾海登 うしおかいと (M2) $z = 1.45$ の星形成銀河における分子ガスの内部分布
9:00	銀河 26 萩本将都 はぎもとまさと (M1) 大型ミリ波望遠鏡 LMT を用いたサブミリ波銀河の高励起一酸化炭素回転遷移輝線のスペクトル解析
9:15	銀河 27 中野すずか なかのすずか (M2) ALMA で探る近傍活動銀河核 NGC 7469 中心領域の熱源診断
9:30	銀河 28 植松亮祐 うえまつりょうすけ (M1) XCLUMPY モデルを用いた Circinus galaxy におけるトーラス内縁半径の推定
8月26日 10:00-11:00 C会場	
10:00	銀河 29 牧野和太 まきのかずた (M1) 輻射流体計算による活動銀河核周辺ガスの多相構造の解明
10:15	銀河 30 城知磨 じょうかずま (M2) SDSS/MaNGA データを用いた狭輝線領域の起源に関する調査
10:30	銀河 31 RenYi ニンキ (M1) An introduction of the paper about IR-bright DOGs
10:45	銀河 32 登口暁 のぼりぐちあかとき (D3) すばる望遠鏡 HSC で発見された "blue-excess dust-obscured galaxies (BluDOGs)" の可視光線スペクトル

8月26日 11:15-12:15 C会場	
11:15	銀河 33 仲宇星 ちゅううせい (M1) Convolutional Neural Network in Astrophysics
11:30	銀河 34 瀬戸口健太 せとぐちけんた (M2) SXDS 領域における $z \sim 1.4$ の AGN の研究
11:45	銀河 35 松田慧一 まつだけいいち (M1) AGN の同定を目的とした JVLA による SSA22 原始銀河団の連続波観測データ解析
12:00	銀河 36 山本優太 やまもとゆうた (M1) すばる望遠鏡 Hyper Suprime-Cam を用いた高赤方偏移電波銀河の調査
8月27日 8:45-9:45 A会場	
8:45	銀河 37 三橋一輝 みつはしいっき (M2) ALMA を用いた $z > 4$ サブミリ波銀河の統計的調査
9:00	銀河 38 菊地原正太郎 きくちはらしょうたろう (D2) 輝線強度マッピングで探る $z \sim 2-7$ 星形成銀河周りの巨大ライマン alpha 構造
9:15	銀河 39 浅田喜久 あさだよしひさ (M1) Constraint on H α Luminosity Function at $z \sim 7.8$ probed by HST and Spitzer
9:30	銀河 40 徳岡剛史 とくおかつよし (M1) 赤方偏移 $z = 9.11$ [OIII] 輝線銀河の ALMA 観測データ解析

8月24日 11:15-12:15 C会場		8月26日 13:15-14:15 B会場	
11:15	太恒 1 石川遼太郎 いしかわりょうたろう (D2) 深層学習を用いた乱流場の水平速度診断手法の開発	13:15	招待講演 堀田 英之氏 (千葉大学) 太陽ダイナモ問題解決に向けて
11:30	太恒 2 正木寛之 まさきひろゆき (M1) ディープラーニングの活用した太陽光球における水平速度場予測	8月26日 14:30-15:30 A会場	
11:45	太恒 3 石倉秋人 いしくらあきと (M2) 太陽黒点における磁場強度と力の関係について	14:30	太恒 17 古谷侑士 こたにゆうじ (D1) 太陽光球中の磁気リコネクションで発生するジェット構造の形成機構
12:00	太恒 4 高畑憲 たかはたけん (M2) 太陽表面における磁場要素の磁束、磁場強度、移動速度の関係	14:45	太恒 18 富野芳樹 とみのよしき (M2) 部分電離プラズマ中で起きる磁気リコネクションの数値的研究
8月24日 14:30-15:30 C会場		15:00	太恒 19 村上享平 むらかみきょうへい (M2) 太陽コロナを想定した磁気リコネクションの Hall MHD 計算
14:30	太恒 5 木原孝輔 きはらこうすけ (D1) 太陽高エネルギー粒子 (SEP) とコロナ質量放出 (CME) の関係性に対する統計的研究	15:15	太恒 20 白戸春日 しらとはるひ (M1) 飛騨天文台 SMART 望遠鏡を用いた光球 5 分振動由来の磁気流体波の彩層へのエネルギー輸送の観測的研究
14:45	太恒 6 長澤俊作 ながさわしゅんさく (M2) 超小型衛星で迫る太陽フレアからの熱的・非熱的放射の時間発展と粒子加速	8月27日 8:45-9:45 C会場	
15:30	太恒 7 井上大輔 いのうえだいすけ (M1) 活動領域からのアウトフローと遅い太陽風の関連性の FIP 効果による検証、および突発現象への応用	8:45	太恒 21 栗山直人 くりやまなおと (M2) 大質量星進化後期において繰り返し発生する爆発的質量放出現象の輻射流体力学シミュレーション
15:45	太恒 8 清水公彦 しみずきみこ (M1) 低質量星におけるアルフベン波駆動の磁気回転風について	9:00	太恒 22 西河笙太 にしかわしょうた (M1) ニューラルネットを用いた closure 関係の研究
8月25日 10:00-11:00 A会場		9:15	太恒 23 長塚知樹 ながつかともき (M1) Wolf Rayet 連星 WR102-1 の X 線長期モニター観測
10:00	太恒 9 岩崎巧実 いわさきたくみ (M2) 狭帯域フィルターを使った金属欠乏星搜索		
10:15	太恒 10 北古賀智紀 きたこがさとと (M1) 多波長同時観測で迫るおうし座 UX 星で生じた巨大フレアの特徴		
10:30	太恒 11 岡本豊 おかもとゆたか (M1) TESS と MAXI を用いた巨大恒星フレアにおける白色光フレアエネルギーと X 線最大光度の関係		
8月25日 11:15-12:15 B会場			
11:15	招待講演 本田 敏志氏 (兵庫県立大学) 活動性を示す恒星の観測と今後への期待		
8月26日 8:45-9:45 B会場			
8:45	太恒 13 山崎大輝 やまさきだいき (D1) 飛騨天文台 SMART-TEM 偏光キャリブレーション		
9:00	太恒 14 木村なみ きむらなみ (M1) 京都大学飛騨天文台 SMART/SDDI を用いたフィラメント噴出・消失現象の 3 次元速度場の導出		
9:15	太恒 15 田中宏樹 たなかひろき (M2) 太陽の CaK 線撮像分光観測による紫外線放射の推定		
9:30	太恒 16 森塚章恵 もりつかあきえ (M1) 太陽表面リム境界近傍におけるドップラー速度観測から迫る対流の三次元構造		

8月24日 17:00-18:00 A会場	
17:00	星間1 木下真一 きのしたしんいち (M2) 衝撃波と星間雲の相互作用を探る数値シミュレーション
17:15	星間2 前田龍之介 まえだりゅうのすけ (D1) 中性水素ガス衝突による大質量星団形成の初期条件依存性についての研究
17:30	星間3 山田麟 やまだりん (M1) NGC 2023 における星形成
17:45	星間4 津田雅弥 つだまさや (M1) 銀河中心領域の電子・陽電子対消滅線観測の現状とSMILE-3計画
8月25日 8:45-9:45 B会場	
8:45	星間5 渡邊裕人 わたなべゆうと (M2) 銀河系中心分子層で発見されたHVCC forestの観測的研究
9:00	星間6 宇留野麻香 うるのあさか (M2) 銀河系中心に存在する高速度分子雲の自動同定及び統計的研究
9:15	星間7 西山苑実 にしやまそのみ (M1) アンテナ銀河NGC4038/4039における広速度幅分子雲の探査
8月25日 10:00-11:00 B会場	
10:00	招待講演 竹川 俊也氏 (神奈川大学) 銀河系中心と僕
8月26日 10:00-11:00 B会場	
10:00	星間9 土岡智也 つちおかともや (M1) 著しく非対称な重力崩壊型超新星残骸G350.1-0.3におけるイジェクタ速度の測定
10:15	星間10 樋口諒 ひぐちりょう (M1) 宇宙線のフェルミ加速の計算法と精度の比較
10:30	星間11 西野将悟 にしのしょうご (M2) 数値計算を用いた宇宙線加速に向けたテスト計算とその応用
10:45	星間12 小橋亮介 こばしりょうすけ (M2) middle-aged 期に至る超新星残骸からの非熱的放射の計算
8月26日 11:15-12:15 B会場	
11:15	招待講演 霜田 治朗氏 (名古屋大学) Basic reviews on Galactic cosmic-ray origin
8月27日 10:00-11:00 B会場	
10:00	星間13 火物瑠偉 ひものるい (M1) 超新星残骸W28における過電離プラズマの生成機構の観測的研究
10:15	星間14 小柴鷹介 こしばようすけ (M1) XMM-Newton 衛星搭載のRGSを用いた超新星残骸J0453.6-6829のX線精密分光による共鳴散乱と電荷交換の探索
10:30	星間15 佐藤諒平 さとうりょうへい (M1) XMM-Newton/RGSを用いた超新星残骸G292.0+1.8のX線精密分光
10:45	星間16 大城勇憲 おおしろゆうけん (M1) XMM-NewtonとNuSTARによるIa型超新星残骸3C397の鉄族元素の空間分布測定

8月24日 10:00-11:00 A会場	
10:00	星惑1 竹村英晃 たけむらひであき (D1) オリオンA分子雲の分子雲コアの質量関数で探る星の形成シナリオ
10:15	星惑2 森井嘉穂 もりい かほ (M1) 赤外線暗黒星雲G23.477における星形成活動の検出
10:30	星惑3 上野皓斗 うえのひろと (M1) 回転・磁場を考慮した星間雲の構造と安定性と進化
10:45	星惑4 吉田大輔 よしただだいすけ (M2) 深層学習を用いた天文データ解析手法の開発：分子雲コアの同定及び解析
8月24日 11:15-12:15 A会場	
11:15	星惑5 原田直人 はらだなおと (M2) 大質量近接連星の形成における磁気制動の重要性
11:30	星惑6 石原昂将 いしはらこうすけ (M1) ALMAによる大質量星形成領域でのコアスケールの分裂過程の統計解析
11:45	星惑7 中村桃太郎 なかむらももたろう (M2) 6.7 GHz メタノールレーザーは大質量原始星からのアウトフローに付随するか？G59.783+0.065の内部固有運動の研究・続
12:00	星惑8 山下真依 やましたまい (M2) Ca II 三重輝線とMg I 輝線を用いた若い恒星の彩層活動の調査
8月24日 15:45-16:45 C会場	
15:45	星惑9 東翔 ひがししょう (M2) 収縮するミニハローにおける乱流の増幅
16:00	星惑10 定成健児 エリック さだなりけんじえりっく (M2) 磁場環境化での初代星形成
16:15	星惑11 中村和貴 なかむらかずき (M1) 初代星の形成
16:30	星惑12 前田夏穂 まえだなつほ (M2) 鉛直降着流による周木星円盤へのガリレオ衛星材料物質の供給
8月24日 17:00-18:00 C会場	
17:00	星惑13 胡博超 コハクチョウ (M1) 周惑星円盤の赤外線・電波観測のモデル計算：衛星形成の条件
17:15	星惑14 木原遥大 きはらようだい (M1) 円盤の熱進化を考慮した天王星周りの衛星形成
17:30	星惑15 長谷川祐一 はせがわゆういち (M1) N体計算を用いた巨大天体衝突に伴う衛星系形成のパラメータスタディ
17:45	星惑16 村嶋慶哉 むらしまけいや (M1) 衛星の内部海のシミュレーションのためのSPH法のコード開発

講演プログラム

星・惑星形成

観測機器

講演プログラム

<p>8月25日 13:15-14:15 C会場</p> <p>13:15 星惑17 中野龍之介 なかのりゅうのすけ (D1) 原始惑星系円盤進化の中心星質量への依存性</p> <p>13:30 星惑18 駒木彩乃 こまきあやの (M1) 原始惑星系円盤の光蒸発シミュレーション: 中心星質量依存性</p> <p>13:45 星惑19 川上碧 かわかみあおい (M1) 土星の偏光観測</p> <p>14:00 星惑20 紅山仁 べにやまじん (M2) Tomo-e Gozen サーベイデータに対するランダムフォレストを用いた移動天体検出システムの開発</p>	<p>8月24日 8:45-9:45 B会場</p> <p>8:45 観測1 寺内健太 てらうちけんた (M1) 新型大気蛍光望遠鏡による極高エネルギー宇宙線の観測</p> <p>9:00 観測2 加藤勢 かとうせい (D1) ALPAQUITA 実験による南天の最高エネルギーガンマ線天文学の開拓</p> <p>9:15 観測3 佐々木寅旭 ささきのぶあき (M1) C T A 大口径望遠鏡に用いる光電子増倍管の性能評価</p> <p>9:30 観測4 バクスタージョシユア稜 ばくすたーじょしゅありょう (M1) IACT における Gamma hadron separation について</p>
<p>8月25日 14:30-15:30 B会場</p> <p>14:30 招待講演 徳田 一起氏 (大阪府立大学/国立天文台) 最新電波望遠鏡で星の卵の進化を追う 星誕生の瞬間を求めて</p> <p>8月26日 14:30-15:30 B会場</p> <p>14:30 招待講演 小久保 英一郎氏 (国立天文台) 楽しい粒子円盤系—もしくは惑星系の構造と起源</p>	<p>8月24日 10:00-11:00 B会場</p> <p>10:00 観測5 宇佐見雅己 うさみまさき (M1) 超小型衛星 SONGS 搭載太陽中性子・ガンマ線検出器の積層プラスチックシンチレータ部の性能評価</p> <p>10:15 観測6 野橋大輝 のばしだいき (M2) 集積回路 ASIC を用いた超小型衛星搭載用太陽中性子・ガンマ線検出器の性能評価</p> <p>10:30 観測7 吉田有良 よしだゆら (M1) 銀河系内外拡散 MeV ガンマ線観測のための高角度分解能化を目指した SMILE-3 計画</p>
<p>8月26日 15:45-16:45 C会場</p> <p>15:45 星惑21 辰馬未沙子 たつうまみさこ (D2) 原始惑星系円盤でのガス流が引き起こす高空隙ダストの自転による破壊</p> <p>16:00 星惑22 河合航佑 かわいこうすけ (M2) 惑星形成における衝突破壊の再検討</p> <p>16:15 星惑23 土井聖明 どいきよあき (M1) 原始惑星系円盤 HD 163296 のミリ波連続波観測からのダストスケールハイトの制限</p> <p>16:15 星惑24 岡村達弥 おかむらたつや (M1) 原始惑星の重力を考慮した原始惑星系円盤ガス流中での固体小天体集積の見積もり</p>	<p>8月24日 13:15-14:15 B会場</p> <p>13:15 招待講演 武田 伸一郎氏 (東京大学) 装置開発ライフを楽しむ</p>
<p>8月27日 11:15-12:15 B会場</p> <p>11:15 星惑25 笠木結 かさぎゆい (M2) IRD-SSP による M 型星周りの惑星検出に向けた視線速度測定の安定性向上について</p> <p>11:30 星惑26 桑田敦基 くわたあつき (M2) 惑星ドック: 太陽系外惑星を CT スキャンし世界地図を描く</p> <p>11:45 星惑27 赤木晋 あかぎしん (M1) バイナリーレンズにおける重力マイクロレンズ法による太陽系外惑星の電波放射観測</p> <p>12:00 星惑28 藤田菜穂 ふじたなほ (M1) 短周期 super-Earth の大気散逸による軌道進化</p>	<p>8月24日 14:30-15:30 A会場</p> <p>14:30 観測9 八木雄大 やぎゆうた (M2) 太陽アクシオン探査に特化した超伝導遷移端型 X線マイクロカロリメータの開発</p> <p>14:45 観測10 田中圭太 たなかけいた (M1) TES 型マイクロカロリメータにおけるインピーダンス測定</p> <p>15:00 観測11 小林紘之 こばやしひろゆき (M1) 超伝導量子干渉計を用いた断熱消磁冷凍機下での X 線検出機読み出し環境の構築</p> <p>15:15 観測12 加藤颯 かとうそう (M1) X 線マイクロカロリメータ用断熱消磁冷凍機の常磁性体カプセルの開発</p>
	<p>8月25日 8:45-9:45 C会場</p> <p>8:45 観測13 渡邊泰平 わたなべたいへい (M1) 硬 X 線偏光撮像システムを搭載した超小型衛星のための軌道上バックグラウンド評価</p> <p>9:00 観測14 畠内康輔 はたうちこうすけ (M2) CMOS イメージセンサを用いた硬 X 線撮像偏光計の開発</p> <p>9:15 観測15 井上諒大 いのうえりょうた (M1) 湾曲 Si 結晶を用いたブラッグ反射型偏光計の分光性能評価</p> <p>9:30 観測16 内野友樹 うちのともき (M1) 高温塑性変形技術を用いた湾曲ブラッグ結晶偏光計の開発</p>

観測機器

観測機器

8月25日 13:15-14:15 A会場		8月27日 8:45-9:45 B会場	
13:15	観測 17 橋建志 たちばなたけし (M1) 金沢大学超小型衛星搭載広視野 X 線撮像検出器 T-LEX の撮像性能試験とその評価	8:45	観測 33 西ノ宮ゆめ にしのみやゆめ (M2) CMB 偏光観測に用いる TES の電氣的・熱的特性評価および光学試験の進捗状況
13:30	観測 18 藤田康平 ふじたこうへい (M1) 多重薄版型 KB ミラーの光学設計	9:00	観測 34 村田雅彬 むらたまさあき (M2) 次世代 CMB 偏光観測実験 Simons Observatory の小口径望遠鏡に搭載する偏光角校正装置の製作と性能評価
13:45	観測 19 作田紗恵 さくださえ (M1) MEMS 技術を用いた Schmidt 配置 Lobster eye 光学系の開発	9:15	観測 35 寺崎友規 てらさきともき (M1) CMB 偏光観測に用いるマイクロ波多重化読み出し回路の性能評価
14:00	観測 20 芳野史弥 よしのふみや (M2) Athena 衛星に搭載する SPO 望遠鏡の DLC コーティング	9:30	観測 36 坂栗佳奈 さかぐりかな (M1) 宇宙マイクロ波背景放射 (CMB) 実験で用いる反射防止膜 (AR coating) の作成と性能評価
8月25日 15:45-16:45 C会場			
15:45	観測 21 川本莉奈 かわもとりな (M2) 鹿児島大学 1m 望遠鏡用可視光 2 波長同時撮像装置の開発		
16:00	観測 22 沖中陽幸 おきなかはるゆき (M1) せいめい望遠鏡における近赤外偏光撮像装置のための波長板回転機構の設計と製作		
16:15	観測 23 坂部健太 さかべけんた (M2) 「小型屈折型補償光学装置 CRAO の開発: AO シミュレーションによるエラーバジレットの評価」		
16:30	観測 24 渥美直也 あつみなおや (M1) 極限補償光学における tip/tilt 補償装置の開発		
8月25日 17:00-18:00 C会場			
17:00	観測 25 佐藤大樹 さとうたいき (M1) 近赤外線輻射輸送計算による生体光イメージング: 甲状腺癌の診断に向けて		
17:30	観測 27 谷口暁星 たにぐちあきお (PD) データ科学的装置開発によるサブミリ波分光観測の高感度化		
17:45	観測 28 松英裕大 まつえゆうだい (M1) NASCO 受信機の搭載から現在までの開発進捗		
8月26日 15:45-16:45 A会場			
15:45	観測 29 南大晴 みなみたいせい (M1) 1.85m 電波望遠鏡の新 IF 回路の検討		
16:00	観測 30 松本健 まつもとたける (M1) 1.85m 電波望遠鏡の新制御システム開発		
16:15	観測 31 星野百合香 ほしのゆりか (M1) 半波長板の結晶軸のずれが CMB の B モード偏光観測に与える系統誤差の評価		